

特集

大船渡市林野火災に次ぐ緊急消防援助隊出動 五城目消防の11日間の活動記録

4月22日、岩手県大槌町小鏈地区・吉里吉里地区で発生した林野火災において、町消防本部は緊急消防援助隊として出動し、延べ11日間にわたって消火・警戒活動にあたりました。

今号では、町消防本部が大規模林野火災に挑んだ11日間の活動の記録を紹介します。

火災の概要

- 【出火日時等】 覚知日時 小鏈地区 4月22日 13時53分
吉里吉里地区 4月22日 16時22分
鎮火時刻 5月29日 13時00分
- 【焼損面積】 小鏈地区 約446ha 吉里吉里地区 約1,187ha
- 【派遣期間】 4月24日～5月4日（11日間）
- 【派遣隊員数】 第1次派遣隊～第4次派遣隊まで延べ24名
- 【派遣車両】 五城目タンク2（消火小隊） 五城目搬送1（後方支援小隊）
- 参考：「岩手県大槌町の林野火災による被害及び消防機関等の対応状況」（総務省消防庁）



五城目タンク2



五城目搬送1

活動の記録

01

集結場所到着・発隊式

— 集結場所 —

総務省消防庁から緊急消防援助隊の出動要請があり、要請を受けた町消防本部は、直ちに派遣体制を確立。消火小隊4名、後方支援小隊2名の計6名による第1次派遣隊を編成し、集結場所である岩手県の「道の駅 遠野風の丘」へ向け、24日に出発しました。



— 発隊式 —

集結場所に到着後、派遣先や今後の活動に関する指示を受けました。続いて行われた秋田県大隊の発隊式では、県内各消防本部から駆け付けた隊員たちが任務への決意を再確認し、「被災地のために」という強い思いのもと、全員が心を一つにして活動へと踏み出しました。



秋田県大隊発隊式